

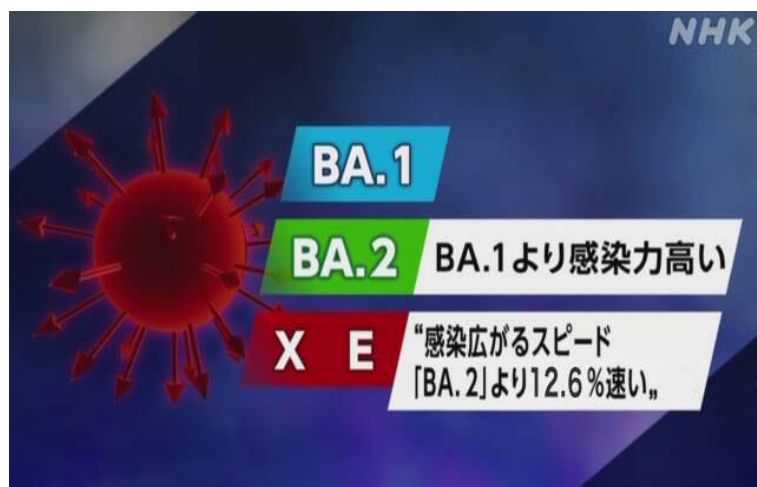
# ICT ニュース 2022/4 月号

2022/4/18 発行 ICT/感染管理委員会

新規採用者を迎え新年度がはじまりました。桜の花もあっという間に散り去り、コロナウイルスも同様にと感じていましたが、残念なことにさっそく新しいオミクロン株が判明しました。次の「第7波」で主流になるとみられているのが、オミクロン株の1つでより感染力が高いとされる「BA.2」。さらに別の変異ウイルス「XE」も徐々に広がりを見せており、新たな変異ウイルスの現状、そして必要な対策とはどんなことなのでしょうか。



## ● 新たに判明したオミクロン株「XE」



## ワクチン 3回目接種の発症予防効果

	接種から1週間	接種から15週間以上
「BA.1」	71.3%	45.5%
「BA.2」	72.2%	48.4%

イギリス保健当局 研究者のデータ

新型コロナウイルスは世界中で広がる中で変化を繰り返しています。その中で今、世界各国で最も広がっているのがオミクロン株の1つ「BA.2」というウイルスです。オミクロン株の「BA.1」と比べて感染力が強く、今の感染者数の増加について接触機会の増加と「BA.2」系統への置き換えが強く影響していると考えられています。

さらに、最近判明した「XE」は複数のウイルスが組み合わさってできたタイプでウイルスの表面にあり、WHOは「XE」をオミクロン株の一種としています。数理モデルを使った解析を行った結果、「XE」の感染が広がるスピードは「BA.2」よりも12.6%速いと試算しており、感染力が高いとされていますが、大きな流行を引き起こすかどうかという今の段階では判断が難しいそうです。現在の新規感染者数は去年夏の第5波のピークより高い状況が続いていますが、厚生労働省の専門家会合は、さらにリバウンドの可能性も懸念されるとしていて

▽ワクチンの追加接種をさらに進めること

▽外出の際には混雑した場所や換気が悪い感染リスクの高い場所を避けること

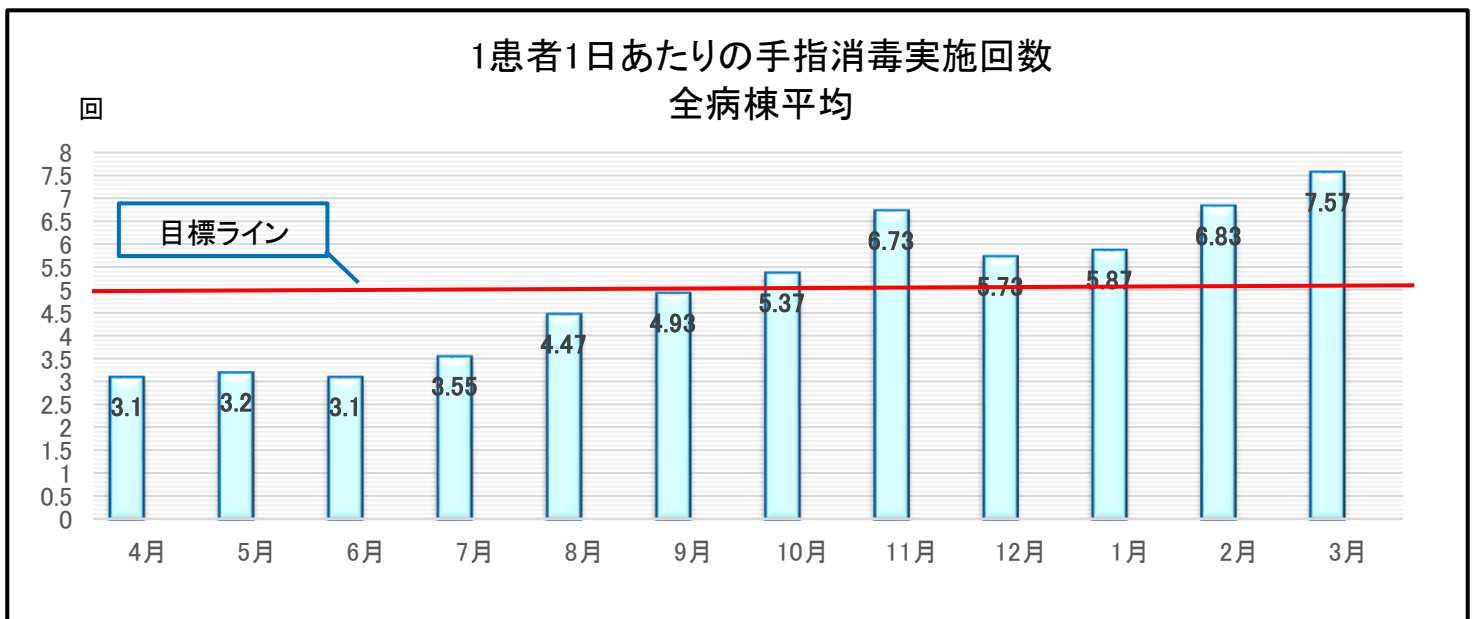
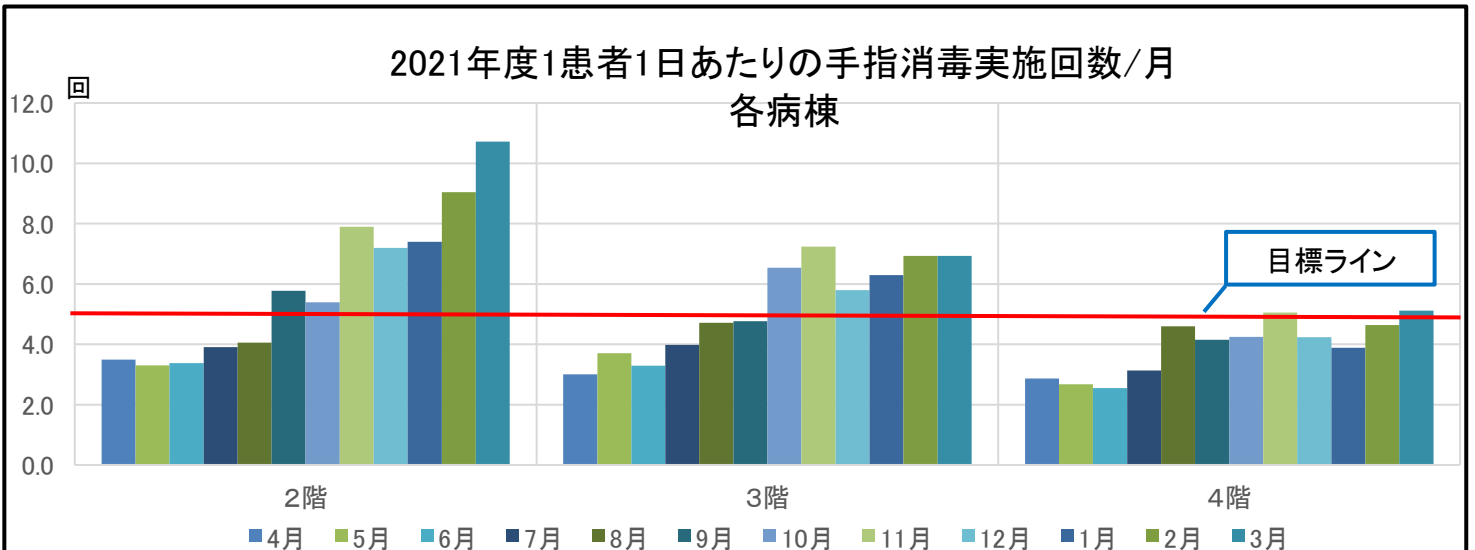
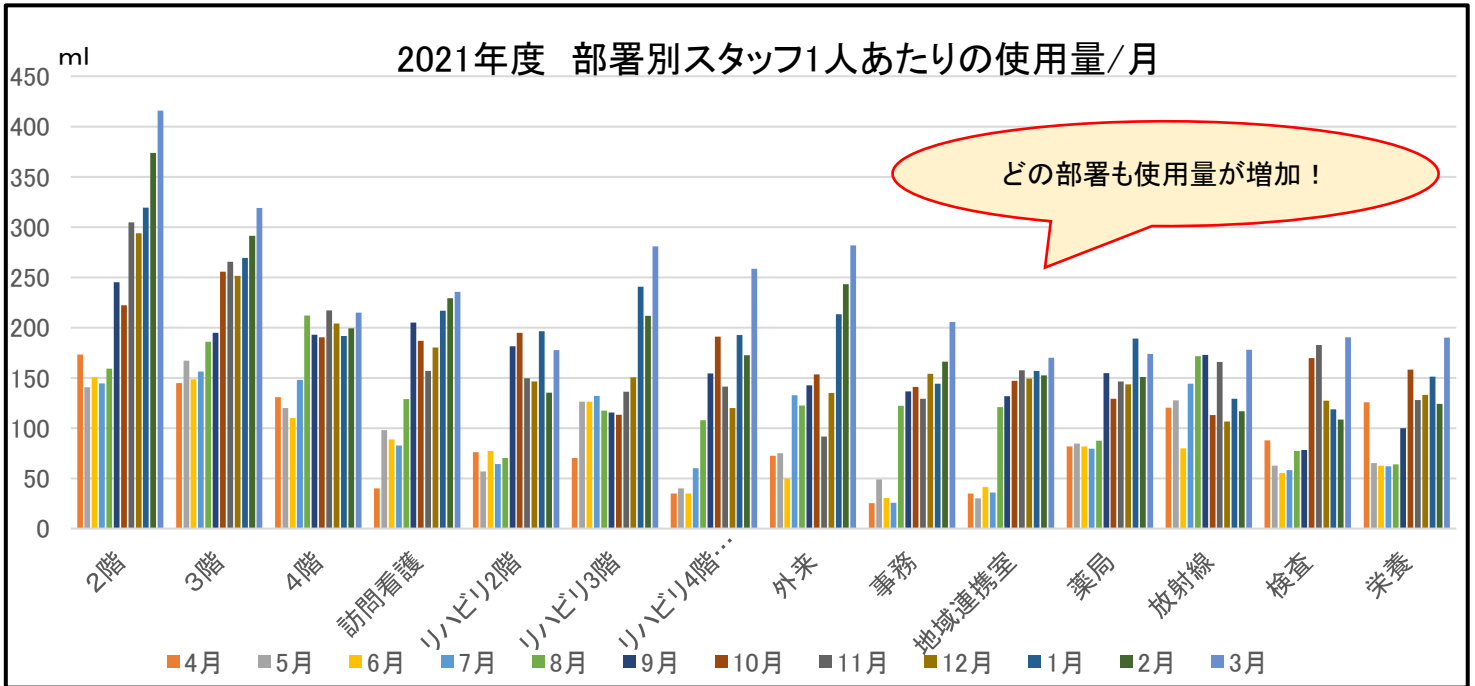
▽不織布マスクの正しい着用、消毒や換気、密を避けるといった対策を徹底するよう改めて呼びかけています。

## ●今年度の感染管理目標

1. 手指衛生遵守率の向上: 手洗い実施回数 7 回以上
2. 職業感染対策の向上: 感染性廃棄容器の分別が守られ、8 分目交換が遵守される
3. 感染防止技術の向上: ①尿道留置カテーテル管理が遵守される  
②吸引瓶の管理が遵守される  
③個人防護具の着脱が適切に行える
4. 感染教育の向上: 研修会 2 回以上の開催と参加率 90% 以上



# ★2021 年度アルコール手指消毒剤使用量報告



\* 今年度最高の使用量と実施回数となりました。今後も手指衛生をタイミングよく実施しましょう！